

## ～印象記～

平成27年度 第1回研修会では、友清 直樹先生をお迎えし、『理学療法士のキャリアアップとこれから「社会保障改訂から見るこれからの理学療法士の働き方」～個人と組織～』、荒木 智子先生をお迎えし『理学療法士として働き続ける女性のためのキャリアデザインとワーク・ライフバランス』をテーマにご講義を頂きました。

今回の研修会では、自らの理学療法士としてのキャリアをこれからどのように積み重ねていくのか、日頃の働き方を見つめ直す大変よい機会となりました。現在、理学療法士の数は10万人を超える規模となっており、活躍の場面も医療・介護のみに留まらず、様々な場面で行うことが可能となっています。しかし理学療法士全体の80%は20～30歳代と非常に若く、個人・組織ともにこれからどのようにキャリアアップを行っていくのか、大切な時期にあるのではないかと感じています。

友清先生の講義では「なぜキャリアアップが必要なのか」「どのようにキャリアアップを行うのか」日本の現状を踏まえ、社会保障改訂からの切り口で大変、熱心にその必要性・方法を教えて頂きました。友清先生の体験に基づいた話は、今以上に社会に目を向け、影響力を高められるよう自己研鑽を行わないといけないと強く感じる内容でした。



荒木先生の講義では「女性がキャリアをどのように築いていくのか」個人・組織ともに現状をどうすれば良い方向へ変化させることが出来るかを考える非常に良い時間となりました。今後、妊娠・出産、育児、家事、介護など女性・男性ともに多くのイベントを抱えながらも、理学療法士としてどのように自己研鑽を重ね、成長できる環境を作ることが大切か教えていただくことができました。



今回の研修会を通じて、個人・組織ともにより良いキャリアを積み重ねられるように、今以上日々の業務やプライベートに取り組まないといけないと改めて感じることができました。講義全体を通して大変、熱気ある実りの多い研修会であったのではないかと感じています。

今後も奈良県理学療法士協会研修部では、皆様が少しでも興味を持っていただける内容を研修部一同で取り組んでいきたいと思っております。今後共どうぞ宜しくお願いいたします。最後になりましたが、大変お忙しい中ご講義を快諾頂きました友清先生・荒木先生に深く感謝申し上げます。(研修部 中村 洋貴)

### —託児の感想—

独身の頃は興味のある研修会に多く参加していましたが、結婚して子供が生まれてからそれができなくなりました。今回の研修会は託児があることで、即参加を決めることができました。

ママ理学療法士も増えている現状に奈良県士協会が気付いて下さり、今後も託児付きの研修会が増えれば良いなと思っております。  
(匿名ママ PT)

